

こんにちは！ 日本共産党の **好きです！憲法9条**

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2013年7月1日 No.225
〒319-1112
東海村村松2401-2
toukai@oona-mieko.info
電話・ファックス 029-284-0761

東海第二原発の廃炉を求める全国交流集会に参加

in茨城

東海第二原発の廃炉を



6月29日、ワークプラザ勝田

原電東海第二原発の廃炉を求める全国交流集会が6月29日、ひたちなか市で開催されました。原発問題全国センター（伊藤達也代表）と同集会茨城実行委員会（田村武夫実行委員長）が共済しました。東海第二原発の廃炉を求める署名は約29万6千筆県に提出されています。「脱原発」宣言の村上達也村長が記念講演しました。

村上村長は、「原発で栄えるのはいつか。その後は根無し草になる」と指摘。福島第1原発で過酷事故が起きるまで過酷事故を想定せず、事故後も原因究明しないで再稼働を急ぐ「原子カムラ」について「権力的な集団。天皇制軍事警察国家のようだ」と批判しました。

村長は、憲法問題にも言及し、「自民党の人たちは『公の秩序』が優先。基本的人権が嫌いなようだ。原発再稼働と改憲の思想の根は同じ。憲法を変えさせてはならない」と述べました。

原発問題福島県民連絡会の野木茂雄事務局長が福島第1原発事故で住民が苦しんでいる状況を報告。「除染・賠償・廃炉」の3大要求の実現めざす「オール福島」のたたかいを紹介し、運動への協力をよびかけました。（しんぶん赤旗6月30日付より）

参加者からは、「改めて原発事故のすさまじさ、恐ろしさを覚えた。どうしても東海第二は再稼働させてはならない。福島県民連絡会のお世話になり、再度福島を訪れ学んでこよう」との声が聞かれました。



講演する村上村長

東海村議会原特委は、6月議会に請願された「日本原子力発電株式会社東海第二発電所で過酷事故が起きた場合において、具体的な避難計画が策定できないかぎり再稼働は認めないとする意見書採択を求める請願書」の審査を、7月3日（水）10時～の委員会から開始します。

請願の採択に向けて全力を尽くしてまいります。

お詫び 致します

29日の集会に参加していて体調不良を起こしてしまいました。日曜版の配達が遅れましたこと心からお詫び申し上げます。